

高等学校 地歴「世界史探究」 シラバス (特進 B コース)

教科	科目名	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材
地歴	世界史探究	2 年	選択	90	新詳 世界史探究 帝国書院	新詳 世界史探究 演習ノート 帝国書院

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間指導目標	単に歴史事項を覚えるだけでなく生徒自身が疑問、課題を提起できるよう，世界史から国家、外交、兵、戦争、税、宗教、官僚登用法など諸制度などの変遷を学習し、今後の世界を予測する。そのために遊牧民と農耕民の関係、交易、国家をこえた民族移動など、時代をこえた普遍的な課題を授業ごとに提示し、問いかけを継続する。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	古代文明の概要（4 大文明ほか） 中国史（殷～唐）10 世紀前後まで 遊牧民との攻防、王朝の変遷中心 インドおよび東南アジア史 古代～11 世紀前後まで 古代エジプト・メソポタミア史 古代ギリシア・ローマ史	ローマ帝国分裂からフランク王国 イスラームとウマイヤ・アッバース朝 イスラーム帝国の拡大と十字軍 中世ヨーロッパ封建社会とキリスト教 スペイン及びイギリスの台頭 中国史（唐末～宋・元・明・清） 大航海時代・オスマン帝国	ルネサンスと宗教改革 17 世紀の危機 絶対王政・市民革命 英仏の覇権争いとアメリカ独立 フランス革命・ウィーン体制 王政、共和制、帝政の成立・崩壊 欧米中心の帝国主義
備考	農耕定住民と遊牧民の攻防が国家存亡に関係したことを、中国からローマ帝国まで共通することを知る	キリスト教とイスラーム中心の中世史から宗教による国家形成を知る	英仏独の対立を中心とした近代史から流れを知る

3 評価の対象と基準

評価課題・方法	知識技能	小单元ごとの「小テスト」、宿題テスト等 定期考査（配点の約 50％）	評価基準	知識技能	三観点全て 学期 A B C 3 段階 学年 A B C 3 段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り <u>知識：思考：主体的態度</u> <u>= 4：4：2</u>
	思考判断表現	定期考査（配点の約 50％） 課題レポート、話し合いの記録、発表会		思考判断表現			
	主体的学習態度	課題レポート、発表会の評価、ノート：内容＆中長期的変容）及び「出欠席」		主体的学習態度			